

日本生理心理学会投稿規程

(1983.9.13 制定, 83.11.30, 84.1.21, 84.6.1, 84.10.11, 84.11.7, 87.6.5, 87.10.13, 88.9.21, 89.7.12, 96.9.11 一部改正, 97.9.19, 03.9.13 大幅改正, 05.5.27, 11.6.1, 11.10.1, 13.5.17, 13.9.30 一部改正)

1. 本誌には、原著論文・短報・テクニカルノート・評論・討論、その他編集委員会が必要と認めたものを掲載する。
2. 第一著者は会員に限る。第二著者以降および依頼論文はこの限りではない。
3. 論文は、本学会にふさわしい内容の邦文または英文とする。
4. 邦文の場合は“心理学研究”の、英文の場合は“**Japanese Psychological Research**”の“執筆規程”及び“執筆・投稿の手引き”¹⁾(以下“手引き”と略記する)に準ずる。
5. 前条に拘らず、本学会では以下の諸点は”手引き”と異なる。
- 5.1. 原著・評論²⁾は、原則として刷り上がり10ページ以内、短報・テクニカルノート³⁾は、刷り上がり6ページ以内、討論⁴⁾は刷り上がり1/2ページ以内とする。規定ページを超えた場合、超過掲載料(現在のところ2ページまで毎に約6,000円)を徴収する。
- 5.2. 図表は必要最小限にとどめ、図表もページ数に含めることとする。図表原稿の大きさは、刷り上がりの2倍にする。
- 5.3. 文献の誌名は、略記せずに完全誌名で記載する。ウェブ情報やオンライン情報は引用文献にURL等を記述する。
- 5.4. 本文中における文献の引用時において、著者が1人のときと2人のときは、“心理学研究”の手引きに則る。著者が3人以上のときは、第2著者以下の姓を省略し、“et al.”、“ら”を用いる。このとき、第1著者のみでは同じ表記になるときは、刊行の年次順に配列し、同一年次のときは、“年次a”、“年次b”のようにa、bをつけて区別する。
- 5.5. 論文は、Microsoft Wordで作成したワードファイルを原稿とする。
- 5.6. 原稿は、A4サイズにページ設定し、日本語の場合はMS明朝フォント12ポイントとして、英数字は半角を使用する。マージンは上35mm、下左右30mmとり、1ページあたり24字×21行とする。原稿の左側に査読者がライン指定しやすいように行番号を入れる。この原稿4枚で刷り上がり1ページに相当する。
- 5.7. 英文の場合もA4サイズにページ設定し、Centuryフォント12ポイントとする。マージンは上35mm、下左右30mmとり、1ページあたり24字×21行とする。原稿の左側に査読者がライン指定しやすいように行番号を入れる。
- 5.8. 原稿および英文アブストラクトは、アブストラクトの和訳を含め提出する。
- 5.9. 審査は、著者名等を伏せないで行うから、ファイルには著者名等を記す。

- 5.10. 姓を含め 20 字以内（英文の場合 40 字以内）のランニングヘッドを添付票に記す。
 - 5.11. カラー印刷及び写真は、原則として掲載料実費を徴収する。カラーページの経費の目安は、1 ページ分 15,000 円、2 ページ 20,000 円～30,000 円である。
 - 5.12. 別刷は原則として有料とする。A4 で 10 ページ程度の経費の目安は、50 冊 7,000 円、100 冊 14,000 円、150 冊 18,000 円、200 冊 20,000 円、250 冊 25,000 円である。
 - 5.13. 著者校は初校（場合によっては再校）のみ行う。
 6. 本誌に掲載する論文等の著作物の著作権は、本学会に帰属するものとする。
 7. 投稿は、次のメールアドレスへ原稿ファイルを添付して送信する。
日本生理心理学会編集事務局
E-mail : jspped@hiroshima-u.ac.jp
 8. 本規程の改正は、編集委員会における出席者の 2/3 以上の同意による。
- 附則：
この改正規程は 2013 年 5 月 17 日以降の投稿論文から適用する。

投稿規程の注

- 1) 本投稿規程では、上記の“手引き”と異なる点のみを記す。投稿者はぜひ“執筆・投稿の手引き、2005 年改訂版”（〒113-0033 東京都文京区本郷 5-23-13 田村ビル内 社団法人日本心理学会、電話：03-3814-3953、FAX：03-3814-3954、振替：東京 00100-2-13338 で、500 円＋送料で入手可能、<http://www.psych.or.jp/publication/inst.html> からダウンロード可能）を併読すること。また、英文は責任ある専門家の校閲を経たものとし、それを証明する文書を必ず添付する。英文アブストラクトの語数は 100-175 語とし、上部に題名、所属機関名の次には郵便が届く程度の所在地、を入れ、キーワードをつける。
- 2) 原著・評論は、表題・所属・氏名を除き、図・表・文献・アブストラクト等を含み、40 枚以内、英文の場合は約 6000 語に相当する。
- 3) 短報・テクニカルノートは同様にして、24 枚以内、英文の場合は約 3500 語に相当する。
- 4) 討論は、本誌に掲載された論文に対する討論で、審査が通れば原則としてそれに対する著者の応答とともに掲載される。同様にして 2 枚以内。